

産業廃棄物処理の実務者研修会

平成27年10月7日（水）三重県勤労者福祉会館で排出事業者及び処理業者を対象に、産業廃棄物を処理する上で重要な委託契約、マニフェスト（産業廃棄物管理票）、帳簿の実務に係る知識習得を目的とした産業廃棄物処理実務者研修会を開催しました。

研修会には58名が出席し、公益社団法人全国産業廃棄物連合会講師の増田浩氏と岩田隆氏により、産業廃棄物処理の実務に必要な内容を解りやすく話していただき、多くの質問も寄せられ、契約書の変更方法、紙マニフェストの訂正方法等について講師から丁寧に回答していただきました。研修会終了後は、受講者へ修了証を交付しました。



産業廃棄物処理の初任者研修会

廃棄物処理法を理解し、産業廃棄物処理の基礎的な知識を身につけ、適正に業務を進めるため、今年度も入社後1～6年程度の初任者を対象とした産業廃棄物処理初任者研修会を、平成27年10月27日（火）四日市商工会議所で開催しました。

研修会には35名が出席し、当協会の筒井専務理事から、委託契約書、紙マニフェストの記載、電子マニフェストの特徴等、産業廃棄物処理の基礎知識について解りやすく説明し、参加者の方は熱心に講義に取り組んでいました。研修会終了後は、受講者からの個別質問があり、専務から丁寧に回答致しました。



電子マニフェスト操作研修会及び運用相談会



電子マニフェストの普及促進を目的に、三重県主催、公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター及び当協会インストラクターによる「電子マニフェスト操作体験研修会」を計13回開催致しました。この研修会では、パソコンを使用しシステムの基本的な操作を体験していただきました。

今年2月には、津市で操作体験研修会よりも実務的な操作方法を行う「電子マニフェスト実務研修会」とシステムに関する個別相談に応じる「電子マニフェストシステム運用相談会」の開催が予定されています。是非、この機会にご参加下さい（詳細は、HP「三重の環境」をご確認下さい）

なお、当協会では、会員の方を対象に、個別の操作体験研修会を開催しております。随時申込を受付けておりますので、希望される場合は事務局までご連絡下さい。

第2回三重県災害廃棄物連絡会

平成27年11月13日、津市内で第2回連絡会が開催され新たな連絡会構成員に太平洋セメント株式会社が加わったこと、兵庫県での災害廃棄物対策の図上演習報告がありました。28年1月末に三重県災害廃棄物処理計画で想定した災害が発生したとの仮定で、指揮命令、災害廃棄物処理対応、情報収集等の図上演習が実施される予定です。

第2回災害廃棄物処理に関するセミナー

平成27年11月13日、津市内で第2回セミナーが開催され、岩手県庁の鈴木悟氏から災害廃棄物の補助金事務実例報告がありました。岩手県の災害廃棄物は一般廃棄物の14年分に相当する618万トンの発生。同県の災害廃棄物処理は26年3月末で終了したが、補助金事務は27年3月末まで続いた。特別措置等で国等がほぼ100%補助。地方自治法に基づき12市町から岩手県に廃棄物処理等事務委託。

当協会の環境美化活動



三重中央開発(株)による秋季環境美化活動

当協会では春季（5月30日：ごみゼロ）と秋季（11月27日：協会設立日）の年2回を「環境美化啓発推進記念日」と定め、両日を中心に、美化活動を実施しています。両日以外にも、事務所等周辺や道路等のごみ収集、除草等美化活動をされている会員の方は、協会までご報告下さい。

会員インタビュー

三重県ごま栽培プロジェクトについて九鬼産業(株)の代表取締役社長 渡辺伸祐氏にお話を伺いました。

この度「フード・アクション・ニッポン アワード2015」にて「三重県ごま栽培プロジェクト」と題し、食文化・普及啓発部門で三重県下初となる優秀賞を受賞致しました。

日本に流通するごまのほとんどが輸入に頼るなかで、近年、国産ごまの需要が非常に高まっており、国産ごま原料が足りない状況となっています。この現状を受け、1999年から行っている自社栽培以外に福祉事業所（障がい者施設）との農福連携による栽培を2014年より開始し、2015年には6事業所（合計約10反）の畑地で栽培を行いました。

今後は菜種の裏作など、農家様へもごま栽培を依頼し、ごま栽培面積を広げていく活動を続けていきます。



九鬼産業(株) 代表取締役社長 渡辺伸祐氏

今回の受賞を契機として、ごま栽培を福祉事業所や農家の方々と継続することで、地元への社会貢献を行い、希少価値の高い国産ごまの栽培を増やすことで、食料自給率向上に寄与して参りたいと思います。

※「フード・アクション・ニッポン アワード」とは、国産農産物の消費拡大の取り組みとして農林水産省が立ち上げた「フード・アクション・ニッポン」の活動の一環として創設され、食料自給率の向上に寄与する事業者・団体等の取り組みを一般から広く募集し、優れた取り組みを表彰することにより、食料自給率向上に向けた活動を広く社会に浸透させ、私たちや未来の子供たちが安心して美味しく食べている社会の実現を目指して実施されているものです。

27年度産廃適正管理セミナー

三重県主催・当協会後援で廃棄物の3Rと適正処理を推進するため「産業廃棄物適正管理セミナー」を平成27年11月13日（金）三重県総合文化センターで開催し、160名が参加しました。28年度予算と基本方針について環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部産業廃棄物課長補佐 池田克弥氏から、また県廃棄物処理計画（中間案）、県ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理計画（中間案）について、県廃棄物対策局廃棄物・リサイクル課の方から講演いただきました。

参加者からは優良産廃処理業者認定取得基準の質問がありました。また、当協会の筒井専務理事から協会の活動などについて話がありました。



第3回理事会を開催

平成27年9月18日に第3回理事会を開催。三重県から要請のあった伊勢市二見町光の街と南伊勢町伊勢路の不法投棄廃棄物のパトロールを10月中旬に実施し、11月頃に協会がボランティアで撤去する。また、協会設立25周年記念事業は、28年6月3日の第5回通常総会と同時に行うことが決定しました。

不法投棄廃棄物撤去対策会議を開催

平成27年11月2日、第1回対策会議を開催。伊勢志摩地域の不法投棄現場のパトロール結果報告があり、11月20日に準備作業を実施し、21日から22日に会員6社により撤去作業を行うことと、重機や参加作業員数を協議。

また11月19日、第2回対策会議を伊勢市内で開催し、駐車場の確保、報道対応、開始時刻、終了時刻、連絡方法等を協議しました。



伊勢志摩サミット寄附金お礼

平成28年5月開催の伊勢志摩サミットを成功させ、地域の活性化につなげるための関連事業に活用するため、伊勢志摩サミット三重県民会議に対して当協会会員36社（者）の方々から919,000円の応募・ご寄附がありました。ありがとうございました。



三重県知事からの感謝状